

専門療育機関の設置

事業概要

自閉症等の発達障がい児を対象に、児童の身辺自立や集団への適応に向けた日常生活の力を伸ばすため、専門療育機関を設置し、児童に対する専門的・個別的な療育、保護者研修等の親支援を実施。

【 事業内容 】

- | | |
|---------|---|
| 1. 対象者 | 3歳児（年少児）から小学3年生までの大阪市内に在住の児童で、医療機関で、医師から広汎性発達障がい（自閉症スペクトラム障がい、自閉症及びアスペルガー症候群を含む。）であると診断を受けた児童及びその保護者 |
| 2. 内容 | <p>①児童の療育
特性を踏まえた指導方法を用いて、児童の身辺自立や集団への適応に向けた日常生活の力を伸ばすための個別療育を、原則として2週間に1回実施</p> <p>②保護者の研修
児童についての理解を深めるため、特性や支援についての研修を原則として月1回実施</p> |
| 3. 実施期間 | <p>1年間 [専門療育20回・保護者研修10回]</p> <p>26年度対応</p> <p>上半期療育開始（2機関） 療育20回・保護者研修10回</p> <p>下半期療育開始（2機関） 療育10回・保護者研修5回</p> |
| 4. 利用料金 | <p>療育1回あたり1000円～1200円程度</p> <p>児童福祉法に基づく障がい児通所支援サービスとして提供</p> |

発達障がい児専門療育機関の運営状況について(平成25年度)

1 設置状況

機関／定員	未就学児	学齢児	計
児童デイサービスセンター an (淀川区)	50	30	80
大阪市更生療育センター (平野区)	40	—	40
bonキッズ谷町 (天王寺区)	20	20	40
計	110	50	160

2 利用希望登録者数[年齢:25年度]

月／年齢等	2歳児	年少	年中	年長	未就学計	小1	小2	小3	学齢児計	計
3月		11	34	60	105	33	21	18	72	177
4月		6	10	10	26	7	2	4	13	39
5月		3	5	4	12	3	2	2	7	19
6月		2	7	8	17	3	1	0	4	21
7月	2	6	4	4	16	1	2	0	3	19
8月		4	5	3	12	0	1	0	1	13
9月	2	6	10	1	19	3	0	0	3	22
10月	4	8	5	4	21	3	4	0	7	28
11月	9	7	4	5	25	2	1	0	3	28
12月	6	8	8	2	24	2	0	0	2	26
1月	4	8	7	4	23	2	0	0	2	25
2月	6	5	9	8	28	6	1	0	7	35
3月	4	8	8	5	25	4	1	0	5	30
計	37	82	116	118	353	69	36	24	129	482

3 待機者等の状況

[年齢:25年度]

月／年齢等	2歳児	年少	年中	年長	未就学計	小1	小2	小3	学齢児計	計
登録者数	37	82	116	118	353	69	36	24	129	482
25年度療育利用		13	34	63	110	21	16	13	50	160
辞退		2	8	5	15	6	3	11	20	35
待機者	37	67	74	50	228	42	17	0	59	287

4 26年度療育予定者の状況

月／年齢等	年少	年中	年長	未就学児計	小1	小2	小3	学齢児計	計
利用希望者	37	67	74	178	50	42	17	109	287
26年度療育利用				130				70	200
待機				48				39	87

5 診断医療機関

[年齢:25年度]

区分／年齢	2歳児	年少	年中	年長	未就学児計	小1	小2	小3	学齢児計	合計
後送医療機関	3	27	47	52	129	17	6	2	25	154
公的医療機関	11	26	32	19	88	15	12	14	41	129
民間医療機関	23	29	37	47	136	37	18	8	63	199
計	37	82	116	118	353	69	36	24	129	482

※ 前記2の計の内訳

※ (4・5歳児発達相談事業に係る)後送医療機関：

心身障がい者リハビリテーションセンター、十三市民病院、
住吉市民病院、市立大学医学部附属病院

6 その他

(1) 発達ノートの交付(希望者)

機関	交付数
児童デイサービスセンター an	43
大阪市更生療育センター	7
bonキッズ谷町	34
計	84

専門療育機関事業 効果検証結果（中間報告）

1、療育開始時・終了時アンケート調査

- ①対象者 平成25年度に児童デイサービスセンター a n、大阪市更生療育センターにて専門療育を受けた児童120名の保護者
- ②実施時期 開始時 平成25年6月～8月
終了時 平成26年1月～3月
- ③内容 ●家族の自信度アンケート【回答数73】
(こどもの障がいの受容、行動特徴の理解、対応についての18項目)
1:全く自信がない ～ 3:どちらともいえない ～ 5:絶対に自信がある
平均値 開始時 3.60 ⇒ 終了時 3.72
- ASEBAによる評価票(心理社会的な適応/不適応状態を包括的に評価)
0:当てはまらない(適応)、1:やや時々あてはまる、2:当てはまる(不適応)
- ・3歳児【回答数9】(CBCLこどもの行動調査票)112項目
総得点 開始時 81.67 ⇒ 終了時 77.0
 - ・4歳以上【回答数64】(CBCLこども行動チェックリスト)113項目
総得点 開始時 45.19 ⇒ 終了時 41.55

2、療育機関への実地検証

①実施機関、日時

療育機関	日時
児童デイサービスセンター a n	H25年 12/10・12/18
大阪市更生療育センター	H25年 11/20・12/24
b o nキッズ谷町	H26年 6/11・6/12

②結果

- ・発達の評価からプランニングまで丁寧に実施されている。
- ・個別支援計画作成は保護者と共同目標を設定することができている。
また、年度途中で必要に応じて再評価・修正を実施している。
- ・療育内容は療育当日に変更する等柔軟に対応できており、画一的なプログラムではなく、対象児童の当日の状態像を把握した上で実施している。

- 課題**
- ・知的に明らかな遅れのないこどもに対する課題設定や療育内容の検討。
 - ・保護者がこどもの特性と療育プログラムの目的や内容を理解し、家庭や所属校園等で療育プログラムの活用や応用ができるような支援内容の工夫。

専門療育利用者の感想（平成25年度）

【こどもの変化】

- ・本人にわかりやすい環境設定にすることで、自分でできることが増えた。スケジュールの理解で、学校でもいつもと違うことを怒らずに受け入れられるようになってきた。
- ・困った時の要求ができるようになって、保育所でも色々と伝えることができるようになった。
- ・「難しそうだ」「きっとできない」という気持ちから新しいことに取り組むのが嫌いだったが、この1年で何事にも「やってみよう」という姿勢が見られるようになった。適切な支援で成功体験を積んだことで、意欲的に取り組めるようになり、結果「できること」がたくさん増えた。
- ・気持ちを振り返ることで、色々な感情を確かめることとなり、それが少しずつではあるが友達と譲り合ったり、我慢できたりすることに繋がっているのではと思う。
- ・欲求や拒否を言葉で伝えることができるようになった。
- ・ただ拒否するのではなく、「〇〇だから嫌」と気持ちを表現できるようになった。
- ・嫌なことがあっても感情をうまくコントロールできるようになりつつある。

【親の変化】

- ・こどもの特性を随分理解できたことで、「何でわからないの？できないの？」という苛立ちが減り、本人は困っているんだ、大変なんだと思えるようになった。
- ・これまでこどもを大人のように扱っている時がたまにあった。年齢や特性を踏まえて、こちらの思っていることを短く、わかりやすく伝えることで、こどもは理解し、自身がつき、小さな成功体験を積み重ねることで積極的に新しいことにも取り組めるようになってきた。
- ・今までは言葉でしか伝えていなかったが、それだけではこどもに伝わりにくく、すごく難しいということが理解できた。解っていなかったとはいえ、こどもにすごくしんどい思いをさせていたんだと思った。
- ・あまり自分の感情を表出しないという特性があるこどもに対し、問題行動があった時「なぜしたの？」と責めるばかりだったが、責める前にこどもの苦手なことはなかったが考えるようになった。しかし、まだ理解できないことも多く、悩むことも多いのでこれからのことを考えると不安。
- ・接し方が変わるところまでいけたかどうかはわからないが、意識としては大分かわったような気がする。この子の特性が本人の努力だけでは本当にどうしようもないところがあることが再認識できたのに伴い、それまではいかに周りに迷惑にならないように特性を目立たなくしていけるかを考えていたが、いかにうまくやっていけるようにできるかを考えるようになった。本人を主軸に考えるようになった。
- ・長い期間通して通える療育場所を増やしてもらいたい。

発達障がい児専門療育機関の運営状況について(平成26年7月末現在)

1 設置状況

時期	法人名	療育機関
平成25年4月	社会福祉法人 北摂杉の子会	児童デイサービスセンターan
平成25年4月	社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会	大阪市更生療育センター
平成25年7月	合同会社 オフィスぼん	bonキッズ谷町
平成26年7月	合同会社 オフィスぼん	bonキッズ北堀江

2 療育機関の状況

機関(所在地)	未就学児	学齢児	計
児童デイサービスセンター an (淀川区)	50	30	80
大阪市更生療育センター (平野区)	40	—	40
bonキッズ谷町 (天王寺区)	20	20	40
bonキッズ北堀江 (西区)	20	20	40
計	130	70	200

3 利用希望登録者数 [年齢:26年度]

月/年齢等	未就学児	学齢児	計
25年度繰越	178	109	287
26年 4月	24	0	24
26年 5月	15	2	17
26年 6月	17	1	18
26年 7月	20	2	22
計	254	114	368

4 待機者等の状況 [年齢:26年度]

	未就学児	学齢児	計
登録者数	254	114	368
25年度療育利用	130	70	200
辞退	8	7	15
待機者	116	37	153

5 診断医療機関 (平成25年3月～26年7月)

区分／年齢	登録者数
後送医療機関	189
公的医療機関	151
民間医療機関	223
計	563

※ (4・5歳児発達相談事業に係る)後送医療機関：
心身障がい者リハビリテーションセンター、
住吉市民病院、市立大学医学部附属病院、
十三市民病院

6 その他

(1) 発達ノートの交付(希望者)

機関	交付数
児童デイサービスセンター an	10
大阪市更生療育センター	7
bonキッズ谷町	10月予定
bonキッズ北堀江	10月予定
計	17

(2) 効果検証

ア 療育前後効果測定

- ・ CBCL(子どもの行動チェックリスト)
- ・ 家族の自信度アンケート 等

イ 療育機関訪問

機関	実施日
児童デイサービスセンター an	平成25年度実施済
大阪市更生療育センター	平成25年度実施済
bonキッズ谷町	6/11・6/12